2014.03.20

謹啓

“お部屋に、一枚の浮世絵を飾りましょう。”

　\*好古堂は浮世絵の老舗。額も、ご用意して、そのお手伝いを致します。

とても、心が豊かになり、楽しい気分になります。

\*江戸時代へタイムスリップして、楽しい江戸時代の日常が再認識しましょう。

四季折々の各地の植物の開花、園芸などが、誹諧、和歌などに関連して、歳時記（さいじき）のように生活を潤しています。

* 美人画は、現代のファッション、実にいろいろな洒落た意匠（デザイン、パターン）です。

特に吉原は、流行の最先端、仲ノ町の櫻見物、俄（にわか）など老若男女が出掛けて行きました。

* 役者絵は、映画スター。ここからもファッションが生まれました。

顔見せから春狂言、夏狂言、秋狂言と、やはり四季に合わせて楽しみがありました。

歌舞伎の戯曲により、一般に実際と違った固定観念が植え付けられました。

* 浄瑠璃（音曲）は、武家娘は箏曲、町家娘は三味線など
* 風景画（景色）は、北齋、廣重を始めとして、日本各地へのトラベルガイド。
* 琴棋（遊芸）の棋（き）は、武家。町人はもっぱら将棋。
* 書画は、書画双絶というように、文人としての男の嗜み。

好古堂主人敬白

酒井　雁高（がんこう）　学芸員　curator、鑑定家 connoisseur

浮世絵・酒井好古堂 [HP: ukiyo-e.co.jp]　　\*酒井好古堂（こうこどう）は浮世絵専門の鑑定、復刻業

10.00-18.30　毎日営業（祝日、祭日を含めて）しております。

\*所要で出掛けていることもございますので、ご来店の前にご一報を戴ければ御迷惑を懸けません。

100-0006東京都千代田区有楽町1-2-14

電話03-3591-4678 Fax03-3591-4678